

揺れ動く自己

現代の児童・青年の自己と適応をめぐって



日時 2025年11月30日(日) 14:00-16:00

形態 対面およびZoomウェビナー

話題提供: 千島 雄太(筑波大学)
木谷 智子(比治山大学)
原田 宗忠(昭和のこども相談室/愛知大学)

指定討論: 杉村 和美(広島大学)

企画・司会: 江副 文美(名古屋大学)
田口 恵也(京都橘大学)



申し込みフォーム:

<https://forms.gle/2XyJUrGo2G3pDP1h7>

お申込み締切: 11月24日(月) 17:00

Erikson (1959) が青年期の発達課題としてアイデンティティを提唱してから半世紀以上が経ちました。情報に溢れる流動的な現代社会では、従来の“一貫した”“単一の”自己では生きにくく、状況に応じて複数の自己を使い分ける柔軟性が求められています。しかし、そのような柔軟性が過剰になると、自己像の不安定性や内的な混乱を招き、心理的適応に困難をきたすことも予想されます。

本シンポジウムでは、児童期・青年期の自己に関する多方面の専門家をお呼びし、自己が揺れ動くことと個人内・個人間の適応との関連について議論します。自己の多面性や変動性が、どのように適応的あるいは不適応的に作用するのかを明らかにすることは、今後の自己をめぐる研究の発展に向けて、さらに、子どもたちの教育といった実践的な側面においても、大きな意義を持つと考えられます。皆様のご参加をお待ち申し上げております。

会場

TKPガーデンシティ京都タワーホテル会議場2F山吹

